

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中！

「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

活動のノウハウを提供する連携が生まれています！

取組例

01

地域に密着した居場所となる、
子ども食堂をつくりたい！

子どもの居場所づくり

教育

取組中

お宝 No.409 深草子ども食堂

▼まずは深草子ども食堂を「体験」

深草子ども食堂は、鳥本さんを始め、栄養学等を学ぶ学生さんが季節に合わせた献立を考えたり、子どもたちを楽しませたい気持ちが伝わってきます。手伝いに来られる地域の方も関わる楽しさが溢れています。

月一回の食堂は、利用者が80名ほどに増え、時間帯を分けて入れ替え制にして運営し、時にゲームやワークショップなど、食事以外の企画も行い、利用者の輪を広げ、定着する工夫をしています。

体験に来られた醍醐いきいきセンターの方は、現場の臨場感やチームワークで運営される方々の動きやコミュニケーション、提供の工夫など、いろんな学びを得られた様子でした。

▼学びを活かして本番

7/21に行われた子ども食堂のメニューはカレー。でも、スパイスを工夫したりラッシーがあったりと本格的で、準備する大人も楽しんでつくっていました。また、家によって違うカレーのあるあるを話してみたり、食事からコミュニケーションが生まれる企画もあり、「楽しい」が詰まった食堂でした。



当日は朝の仕込みからお昼すぎの終了時まで、皆さんてきぱきと、チームワークで動いています。



お持ち帰りの人用にお弁当でも提供。近隣の方の利用が増えています。



本格的なカレーやラッシーも。

▼その後の交流

その後も交流は続き、ピザづくりや「減災カフェ（災害時を想定したクッキング）」（お宝NO243）」など、さまざまな連携企画を行っています。



▼今回の試みのポイント: 市民活動同士が連携し、新たな活動が生まれる

上記は、『まちづくり・お宝バンク』の提案者の活動が進むことで、新たな活動を始めたい方々の力になり得ることを実感した事例としてご紹介しました。鳥本さんも活動を試行錯誤されている時期もありましたが、活動を積み重ねながらつながりや技術を得て現在に至ります。ノウハウや経験を得た人が、それを求めている人にシェアすることで、新たな市民活動が生まれる。この循環は、京都のまちづくりをより豊かにする素敵な流れだと感じました。

02 市民が管理している公園に 芝生のスペースをつくりたい！

連携
実現

お宝 No.420 伏見プレーパーク

お宝 No.435 「芝生の神様」にお任せください

▼ちょうどその頃「芝生の神様」からの提案が！

ちょうどその頃、『まちづくり・お宝バンク』に、Jリーグや日韓ワールドカップ招致において、プロサッカーの天然芝のピッチ整備に尽力された松本さんから、「芝生空間づくりにおけるまちづくり活動の醸成」に関する提案が。

その提案に晴佐久さんが興味を持ち、その思いを市民協働から松本さんにお伝えしご相談したところ、ご協力を快諾いただき、連携が実現しました。

まずは現状を確認し
進め方を提案



松本さんの指導の元、
皆で整地し植え付け



順調に育成中

京都市には、本当に様々な技術や経験を持つ方、地域に貢献したい思いを持つ方が多いことに気づかされます。そうした方々がつながって豊かな空間が生まれる未来が楽しみです。

03 地域の課題や状況を理解し、 地域社会で活躍できる人材を育てたい！

連携
実現

観光業界へも人材を輩出する大和学園さんは、学園として地域社会と共生した取組を実現する意味でも、学生が地域との関わりを持てるような学びの機会もつくりたいと考えていました。

お宝 No.391 京都市版 SDGs ボードゲームを通じた身近な SDGs 啓発プロジェクト

お宝 No.407 学生と地域・地域社会が共創・共生するまちづくり

▼京都の SDGs の取組を 学ぶ機会づくりをご提案

相談を伺う中で、「いかに学生が関心を持ちながら学びを得られるか」という先生方の思いを感じたため、京都市内での市民活動を楽しんで学べる「京都市版 SDGs ボードゲーム」を紹介したところ、関心を持たれたのでマッチング。有志学生を対象にしたワークショップが実現しました。



環境問題ひとつをとっても
いろんな取組があるんだね

この取組見たことある！

ゲームから自然と社会課題への興味が沸く様子に、先生方も学びのコンテンツとして有効と実感されました。

山下先生 本校でも今後京都市版のSDGs ボードゲームを活用することを想定してファシリテーター資格を取得しましたが、本校以外の授業でも生かすことができました。



▼さらにファシリテーターになる先生も

「ファシリテーターになればゲームのワークショップを教育現場で実施できる」と感じた山下先生。その後資格を取得し、母校の京都西山高校で行った授業でボードゲームを活用したワークショップを実施しました。

企業との連携により、 市民活動の発信の場が生まれています。

▼イオンモール京都桂川店との連携が進んでいます。

『まちづくり・お宝バンク』では、2021 年度末からイオンモール京都桂川店におけるイベント（アースデイなど年 2 回程度）にて、市民活動の発信の場が生まれています。これにより、昨今機運の高まっているエコや環境に対する取組や、SDGs に関する取組に関する、展示やワークショップ等により、市民の方にとって、これらのテーマが身近に感じられる機会の創出につながっています。また市民活動団体にとっても、普段の活動拠点とは別に、自身の取組を発信できる機会として活用されています。



□お宝バンクの取組提案に興味をもたれた地域の方、事業者の方、関連部署の方

□行政や事業者の方とのつながりを模索中の市民の方、連携の可能性を一緒に考えます。お気軽にご連絡下さい！